

競 技 注 意 事 項

1 規 則

本大会は 2026 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって行う。

2 練 習

競技運営に支障が無い限り本トラックを一部開放するが、競技役員の指示に従うこと。競技開始 10 分前までは本トラックを練習に開放する。その際 1～3 レーンは周回練習。スピード練習は主にバックストレート 5～8 レーンとし、ホームストレートで行わないこと。ホームストレート 7・8 レーンはハードル練習とする。

3 競 技 場

主競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは 9 mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは 12 mm 以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が 4 mm 以内、スパイクピンの数は 11 本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、WA 競技規則 TR5 を厳守されたい。競技用シューズの靴底については WA 競技規則 TR5（シューズ）を適用（サークルを使用する投てき種目は除く）する。

4 招 集

- ① 招集は 1500m スタート付近の器具庫内で行い、その後、現地担当者から最終確認を受けること。
- ② 招集に遅れたものは、棄権とみなし出場を認めない。
- ③ 招集は、競技開始時刻の、トラックは 20 分前、フィールドは 40 分前までに完了すること。
- ④ 本人が招集所において招集を受ける。ただし、他種目を兼ねて出場する者は、招集所競技者係にその旨を申し出て了解を得ること。（一つの種目に出場していて、他の出場種目と時刻が重なる場合は、当該役員に申し出て了解を得る。）これを怠った者は棄権とみなす。

5 アスリートビブス ※白布に黒字で作成し、他のアスリートビブスの裏面や紙を使い作成した物は認めません。

- ① トラック競技のアスリートビブス・腰ナンバー標識は次の通りとする。

	100m・200m・800m・1500m・100mH・110mH・ 400mH・4×100mR・4×400mR 跳躍競技・投擲競技	3000m・5000m・3000mSC・5000mW
アスリートビブス	白地の布で登録番号を各自で用意 (紙に記入や裏面記入は認めない)	レーンナンバーを主催者が用意 ※登録番号を見てレーンナンバーを受取る
腰ナンバー標識 ※トラック競技のみ	レーンナンバーを主催者が用意 ※4×100mR は 4 走のみ ※4×400mR は 2～4 走のみ	レーンナンバーを主催者が用意

- ② 主催者が用意する特別アスリートビブス・腰ナンバーは、プログラムでレーンを確認した後、招集所から各自で持つこと。なお、レース終了後、フィニッシュ地点で返却をすること。また、腰ナンバー標識用も含め、安全ピンは各自で用意すること。
- ③ アスリートビブスは 2 枚を胸背部に付けること。ただし、跳躍競技はいずれか 1 枚でよい。

6 走路の決定及び競技順序

トラック競技予選の走路及びフィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

7 競技方法

【 トラック競技 】

- ① トラック競技の決勝の番組編成は、本部で抽選し掲示する。（シードレーンは種目により異なり競技規則 TR20.4 3.4.5 を用いる）
- ② 予選を行う種目において出場者が 8 名以下となった場合、予選を行わずその出場者で決勝を行う。決勝の番組編成は本部で抽選し、掲示する。
- ③ 400m までの種目およびリレー競技において、同タイム者（チーム）については判定写真を細部（電気計時 1/1000）まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- ③ スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1 回目の不正スタートで失格とする。
- ④ 男子 5000m は 20 分、女子 3000m は 15 分、男女 5000mW は 35 分で残り 1 周を通過できない場合、競技を終了する。
※男子 5000m・女子 3000m・男女 5000mW の 3 種目は、当日の気象条件によっては競技開始前に中止の判断をすることもある。

長距離競技レース中、参加校の先生方は選手の体調急変・見守りを含めてトラック面での観察をお願いします。

【 リレー競技 】

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成して当日の 12 時以降、招集完了時刻の 60 分前までに招集所に提出すること。その後、招集完了時刻までに 4 人そろって招集を受けること。
- ② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームと確認できるものとする。
- ③ オーダー用紙の提出バッチ時の出場数によって、本部にて番組編成を行い、組数を変更して競技を実施する。

【 フィールド競技 】

- ① バーのあげ方については審判長及び跳躍主任の判断により、係員が指示する。
- ② 1 位決定にかかるバーのあげ方は走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。
- ③ 競技場内での助力は禁止とする。競技区域外で撮影された映像を見ることがや録画再生機器を手にするのはよいが、その際は競技役員の指示に従うこと。

8 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない（競技規則 TR6）ので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。

ただしフィールド種目の助力については、競技区域外で競技者が録画された映像を見ることができ録画再生機器を手にしてもよいが、場所などは競技役員の指示に従うこと。（コーチングエリアは競技役員が指定した場所を守ること）

9 警告

競技規則 CR18.5 の規定により不当な行為をした競技者やリレーチームにはイエローカード（YC）が与えられる。

スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（YC）が与えられることがある。2 回の YC を受けた競技者は競技会から除外される

10 検 査

用器具の検査は、両日とも 8：00～8：15 に行う。検査の対象は棒高跳のポール、および投てき物とする。

11 表 彰

【湘南地区】

① 各種目 8 位まで賞状を授与する。

【横三地区】

① 各種目 8 位、リレー種目 3 位まで賞状を授与する。

② 入賞は 8 位までとし、得点は各種目 1 位 8 点、2 位 7 点、…8 位 1 点とする。

③ 合計得点により男女総合の学校順位を決定し、8 位までの学校に賞状を授与する。

12 その他

- ① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ④ プログラムに誤記がある場合は、8：30 までに本部まで申し出ること。
- ⑤ 参加各校の生徒役員（各校 2 名以上）は、8：15 に本部前に集合すること。
- ④ 待機場所としてのテント設置可能区域は、スタンド後方・スタンドの指定された場所のみとする。
- ⑤ 競技役員テント付近・スタート及びフィニッシュ地点付近での集団応援は慎むこと。
- ⑥ トラック・フィールドへの役員・競技者以外の立ち入りを禁ずる。
- ⑦ 大会中は競技マナーを守り、ゴミ処理・貴重品の管理にも留意すること。
- ⑧ 各校の横断幕、のぼり等は正面スタンドには張らないこと。
- ⑨ 競技場の開門は 7：00（予定）とする。※開門前の待機場所が少ないため早くからの集団待機は控えること。
- ⑩ 競技会終了後は、直ちに退場すること。
- ⑪ 準備、片付けは両地区の参加各校で協力して行う。
- ⑫ 競技終了後は自席の清掃をし、ゴミは各自で必ず持ちかえること。

競技会における事故防止について

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

撮影に関するお願い

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

① 撮影は全て、スタンドから行ってください。 ※トラック面での撮影は禁止です。

- ② 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。
 - ・トラック種目のスタート時の前方・後方からの撮影は禁止。
 - ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳等の助走後方や着地正面からの撮影は禁止。
 - ・走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影は禁止。
 - ・投擲種目における選手の正面からの撮影は禁止。
 - ・競技者がスターティングブロックを合わせている際や試技を待っている間など準備を行っている際の撮影は禁止。
 - ・その他、競技者の迷惑と思われる撮影は禁止。
- ③ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者側で判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。
- ④ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただく場合があります。

- ⑤ 競技運営上、競技役員の判断により、撮影禁止エリアを設ける場合があります。
- ⑥ その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により（大会当日を含む）変更する場合があります。その際には競技役員の指示に従ってください。
- ※ 盗撮行為や迷惑行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。発見次第、記録媒体を没収の上、所轄警察署に通報します。